

## 第12回アジア・オセアニア国際老年学会議

2023年6月12日から14日の3日間の日程で、第12回アジア・オセアニア国際老年学会議（IAGG Asia-Oceania Regional Congress 2023）が、横浜市の横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）ノースを会場として開催された。本会議は、国際老年学協会（International Association of Gerontology and Geriatrics, IAGG）を構成する5つの地域会議の一つであるアジア・オセアニア地域での国際会議であり、1980年にメルボルン（オーストラリア）で第1回会議が開催されて以降、ほぼ4年ごとに開催されている。2019年10月に台北で開催された第11回会議の後、COVID-19の世界的な感染拡大および収束を経て開催された今回の会議では、*Enhanced Wellbeing in Later Life through Innovation and Wisdom Sharing* というテーマのもと、3日間で1,500名以上が参加した（事務局発表による）。

当研究所からは、林玲子（副所長）、小島克久（情報調査分析部長）、蓋若琰（社会保障応用分析研究部室長）、中川雅貴（国際関係部室長）が参加し、それぞれ以下の研究発表を行った。

### 【口頭発表】（シンポジウム）

- HAYASHI, Reiko "Introduction", *Healthy and Active Ageing Index in ASEAN Countries* (Social Science 10).
- NAKAGAWA, Masataka and HAYASHI, Reiko "The Healthy and Active Ageing Index (HAAI): Results for Southeast Asian Countries", *Healthy and Active Ageing Index in ASEAN Countries* (Social Science 10).

### 【ポスターセッション】

- HAYASHI, Reiko "Senility Deaths in Japan - a multiple cause of death analysis using deaths certificate information" (IMAGAWA, Teruhiko ほか4名との共同発表).
- KOJIMA, Katsuhisa "Factor Analysis of Foreign-born LTC Workers Change in Taiwan during Covid-19 Pandemic - analysis with public open data by region".
- GAI, Ruoyan "Measurements Relevant to Social Isolation Deployed in Public Surveys in Japan" (NISHIYAMA, Yukimitsu ほか4名との共同発表).

（中川雅貴 記）

## 日本老年社会科学会第65回大会

日本老年社会科学会第65回大会が、2023年6月17日から18日にかけてパシフィコ横浜ノース（神奈川県横浜市）で開催された。昨年度に引き続き対面で開催された。大会のテーマは、「社会とのつながり～孤立・孤独と老年社会科学～」であった。本年は日本老年学会に加盟する他の学会（日本老年医学会、日本基礎老化学会、日本老年精神医学会、日本老年歯科医学会、日本老年看護学会、日本ケアマネジメント学会）との合同大会（第33回日本老年学会総会）であった。期間中は、これらの学会からの参加者とともに、シンポジウム、特別講演、一般報告等で活発な議論が行われた。今回の大会では、一般報告はポスター発表のみで73の演題で行われた。当研究所からは、小島克久（情報調査分析部長）が以下の演題でポスター発表を行った。